

製品デザインコース教員 専門性解説シート

● 氏名 / (NAME) / 役職

小宮 加容子 / Kayoko KOMIYA / 講師



● 職歴 / 学歴

2009 札幌市立大学 デザイン学部 製品デザインコース 講師
2007 湘南工科大学工学部機械デザイン工学科助教
2006 神奈川県総合リハビリテーション事業団研修生(兼任)
2003 湘南工科大学工学部機械デザイン工学科助手
2003 近畿大学大学院 産業技術研究科 研究生、博士(工学)(近畿大学)
2002 近畿大学大学院 産業技術研究科 博士後期課程 単位取得満期退学
1999 近畿大学大学院 産業技術研究科 博士前期課程 修了

● 専門性を示す代表的な作品 / 専門性を表現するイメージ(写真)



● 専門性を表すキーワード(5つ以内)

福祉工学 / ヒューマンインタフェース / ユニバーサルデザイン / 玩具開発・玩具療法 / 障害者支援

● これからの製品デザイン分野で重用視されると考えるキーワード(5つ以内)

ユニバーサルデザイン / ヒューマンインタフェース / インタラクション / コミュニケーション / 感性工学

● 指導時に主にサポートできる部分(技術 / 造形 / 表現手法 / ソフトウェア / 思考 / 発想、等)

- ・福祉機器をはじめユニバーサルデザインの開発設計に関する指導
- ・リハビリ・知育玩具の開発設計およびその効果に関する指導
- ・ユーザビリティ評価に関する指導
- ・C言語, B A S I Cなどのプログラミングに関する指導
- ・科学的・工学的視点からの発想および裏付けに関する指導

● フリーコメント

今までは主に障害者・高齢者支援をテーマとして研究を進めてきました。これからは障害者・高齢者だけではなく子供達にも目を向け、誰もが幸せになれるモノづくりをテーマに研究を進めていきたいと思っています。みなさんの新しいアイデアで、みなさん自身も楽しみながら、誰もが幸せになるモノづくりと一緒に提案していきましょう!